

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	陶磁器デザイン	3	4	デザイン	必修	なし

### 1. 学習の到達目標

これまでのデザインの学習を生かし、陶磁器の成形方法や実用的な加飾方法について学び理解するとともに、生活の中で使われるもののデザインを企画、制作する能力、技術を身に付けようとする。

### 2. 学習の評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	課題を理解し、その解決を図るために、これまでに学習してきたことを十分に活用しながら、陶磁器を作り上げるための知識と技術を身に付ける。	よりよいデザインを考え検討し、成形方法や加飾技法を身に付けて、一連の工程を進めていき作品を完成させる能力を身につけている。	身の回りの生活に関心を持ち、その中から課題を自ら設定し、陶磁器デザインに関する基礎的・基本的な学習の上に立って、その課題を意欲的に解決する学習態度を身につけている。
評価の方法	実習態度、アイデア、コンセプト、学習の取り組み状況、技能、作品で総合的に評価します。		

### 3. 教科からのメッセージ

設定された条件に沿ってよりよい製品を自ら計画、立案し、実際に生活の場面で使うことができる陶磁器の制作を行います。

年間指導計画 科目名 陶磁器デザイン 3 単位 4 学年

学期	月	学習項目 (単元・考査等)	主な学習内容
前期	4	オリエンテーション 器の和紙染めを用いた パターンデザイン  テーブルウェアの制作	身の回りにある陶磁器について。
	5		和紙染め技法による加飾技法を身に付ける。
	6		モチーフを決め、デザイン処理し、和紙の型紙つくり。
	7		鉢に呉須で和紙染めを施す。 施釉→還元焼成
	8		【合評会】。 実際に使われているテーブルウェアについて調べ、モチーフを決定する。
	9		型抜き成型方法を学習する。 図面を描く。 →成形→素焼き→加飾→本焼き
後期	10	たたら成型による 皿の制作	【合評会】
	11		たたら成型方法（板づくり）を理解した上で形を決定、図面を描く。
	12		型の制作
	1		成形作業
	2		焼成 加飾 焼成
			【合評会】 実際に使ってレポートにまとめる。